



平成31年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
 コード番号 6662 URL https://www.ubiteq.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦  
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第2四半期の連結業績(平成30年7月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	1,002	△5.9	75	32.7	75	30.0	57	△24.5
30年6月期第2四半期	1,065	△8.1	56	△30.2	58	△18.7	75	40.2

(注) 包括利益 31年6月期第2四半期 60百万円 (△20.8%) 30年6月期第2四半期 75百万円 (18.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年6月期第2四半期	3	90	3	90
30年6月期第2四半期	5	17	5	14

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	3,700		3,277			87.3
30年6月期	3,738		3,260			86.0

(参考) 自己資本 31年6月期第2四半期 3,231百万円 30年6月期 3,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
30年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00	0 00
31年6月期	—	0 00	—	—	—	—
31年6月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日~平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,152	2.9	136	3.3	136	1.9	102	△26.7	6	98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年6月期2Q	14,791,600株	30年6月期	14,789,600株
31年6月期2Q	161,100株	30年6月期	161,200株
31年6月期2Q	14,629,478株	30年6月期2Q	14,604,278株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (31年6月期2Q : 161,100株、30年6月期 : 161,200株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響による海外経済の不確実性等の懸念材料はあるものの、企業収益や雇用・所得環境に着実な改善が見られ、設備投資は増加傾向を続けるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化を目指し、次世代のカーソリューション、工場設備稼働の見える化、バイタルセンサーを利用した安全・衛生管理システムをはじめ各種開発業務や製品展開に注力してまいりました。2018年11月には幕張メッセで開催された「第4回IoT/M2M展」に出展し、前連結会計年度に販売を開始した働き方改革支援ツール「Next Work」及び工場IoTキットのブラッシュアップ品として開発中の「D-COLLECT」の認知度の向上に努めてまいりました。

また、減少傾向にある売上高の回復を期し、2018年8月に営業・開発部門における組織体制の見直しを実施しており、加えてオリックスグループとの連携強化策も継続して推進していくことで、お客様のニーズにより迅速・的確に対応してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,002百万円（前年同四半期比5.9%減少）、営業利益は75百万円（前年同四半期比32.7%増加）、経常利益は75百万円（前年同四半期比30.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に計上した新株予約権戻入益がなくなったことにより、57百万円（前年同四半期比24.5%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、カーシェア車載機の受注増加がテレマティクス車載機の落ち込みをカバーしたことにより、売上は概ね前年同四半期並みで推移しました。セグメント利益は売上構成の変化に伴い利率率が上昇し、前年同四半期比で増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は302百万円（前年同四半期比3.1%減少）、セグメント利益は58百万円（前年同四半期比44.2%増加）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、紙幣鑑別センサモジュールの販売が減少しましたが、セグメント利益は前年同四半期並みを確保しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は451百万円（前年同四半期比5.0%減少）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期比0.0%減少）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、大型案件の受注があったものの、既存の開発案件減少の影響が大きく、前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は248百万円（前年同四半期比10.8%減少）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比24.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,700百万円となり、前連結会計年度末から37百万円減少しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が46百万円、製品が21百万円、仕掛品が23百万円、原材料及び貯蔵品が20百万円増加し、現金及び預金が157百万円減少しております。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は423百万円となり、前連結会計年度末から54百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が20百万円、未払金が14百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,277百万円となり、前連結会計年度末から16百万円増加しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて157百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は2,219百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は72百万円(前年同四半期は27百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益77百万円、売上債権の増加39百万円、たな卸資産の増加65百万円、仕入債務の減少29百万円、法人税等の支払15百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は41百万円(前年同四半期は19百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8百万円、無形固定資産の取得による支出32百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は43百万円(前年同四半期は29百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払44百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年6月期の連結業績予想につきましては、平成30年8月10日付の平成30年6月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,877,213	2,719,920
受取手形及び売掛金	478,081	524,874
電子記録債権	29,376	22,558
製品	57,925	78,979
仕掛品	5,234	28,682
原材料及び貯蔵品	55,633	76,532
その他	22,637	19,938
貸倒引当金	△577	△736
流動資産合計	3,525,524	3,470,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△14,610	△16,763
建物及び構築物(純額)	50,606	48,453
工具、器具及び備品	186,766	191,553
減価償却累計額	△152,993	△159,969
工具、器具及び備品(純額)	33,773	31,583
建設仮勘定	910	3,622
有形固定資産合計	85,290	83,660
無形固定資産		
その他	56,695	86,705
無形固定資産合計	56,695	86,705
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,024	13,689
その他	47,561	45,365
投資その他の資産合計	70,586	59,055
固定資産合計	212,573	229,421
資産合計	3,738,097	3,700,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,767	96,744
電子記録債務	186,445	176,867
未払金	35,498	21,076
未払法人税等	21,217	16,653
賞与引当金	2,204	2,045
製品保証引当金	—	5,273
関係会社整理損失引当金	5,132	—
その他	49,748	42,042
流動負債合計	417,013	360,702
固定負債		
株式給付引当金	33,506	36,600
退職給付に係る負債	26,729	25,773
固定負債合計	60,235	62,374
負債合計	477,249	423,076
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	941,079	941,473
資本剰余金	654,981	655,375
利益剰余金	1,679,012	1,691,692
自己株式	△56,676	△56,641
株主資本合計	3,218,396	3,231,900
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,326	—
その他の包括利益累計額合計	△2,326	—
新株予約権	15,064	14,876
非支配株主持分	29,713	30,318
純資産合計	3,260,848	3,277,095
負債純資産合計	3,738,097	3,700,171

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,065,792	1,002,382
売上原価	855,115	769,731
売上総利益	210,676	232,651
販売費及び一般管理費	154,111	157,606
営業利益	56,565	75,045
営業外収益		
受取利息	196	180
為替差益	89	—
投資事業組合運用益	662	—
生命保険配当金	380	387
未払配当金除斥益	237	176
その他	358	60
営業外収益合計	1,925	805
営業外費用		
為替差損	—	21
株式交付費	156	5
その他	2	6
営業外費用合計	158	32
経常利益	58,332	75,818
特別利益		
新株予約権戻入益	28,270	—
受取保険金	—	1,549
特別利益合計	28,270	1,549
税金等調整前四半期純利益	86,603	77,367
法人税、住民税及び事業税	8,612	10,378
法人税等調整額	1,767	9,335
法人税等合計	10,380	19,713
四半期純利益	76,222	57,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	646	604
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,575	57,049



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	76,222	57,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△347	—
為替換算調整勘定	53	2,448
その他の包括利益合計	△293	2,448
四半期包括利益	75,928	60,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,279	59,375
非支配株主に係る四半期包括利益	649	727

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	86,603	77,367
減価償却費	15,419	14,945
受取保険金	—	△1,549
株式報酬費用	41	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	82	158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△187	△159
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	5,273
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△955
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3,758	3,094
受取利息及び受取配当金	△198	△180
為替差損益 (△は益)	△41	△0
株式交付費	156	5
投資事業組合運用損益 (△は益)	△662	—
新株予約権戻入益	△28,270	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△89,215	△39,976
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,264	△65,401
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,374	△29,966
その他	△47,913	△19,260
小計	△5,791	△56,585
利息及び配当金の受取額	19	3
保険金の受取額	—	1,549
損害賠償金の支払額	—	△1,784
法人税等の支払額	△21,418	△15,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,189	△72,182
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,432	△8,917
無形固定資産の取得による支出	△13,666	△32,823
出資金の分配による収入	3,588	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,510	△41,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	14,563	574
自己株式の処分による収入	—	35
配当金の支払額	△43,976	△44,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,412	△43,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△76,026	△157,293
現金及び現金同等物の期首残高	2,156,840	2,377,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,080,813	2,219,920

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	311,776	475,186	278,828	1,065,792	—	1,065,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	311,776	475,186	278,828	1,065,792	—	1,065,792
セグメント利益	40,536	65,344	30,282	136,163	△79,598	56,565

(注) 1. セグメント利益の調整額△79,598千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,598千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	302,202	451,446	248,733	1,002,382	—	1,002,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	302,202	451,446	248,733	1,002,382	—	1,002,382
セグメント利益	58,434	65,337	22,991	146,763	△71,717	75,045

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,717千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,717千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。